



水と人が奏でるハーモニーのまち

# 宝達志水町

# 議会だより

平成 20年 5月 28日 発行

■発行  
石川県宝達志水町議会  
〒929-1492  
石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1  
TEL(0767)29-8310 (直通)  
FAX(0767)29-4623

■編集  
宝達志水町議会  
広報編集特別委員会

## 第12号



交通安全教室 (瀬川小学校)

### 私たち、交通ルールを守るよ!

主	な
記	事

- 20年度予算成立 ..... 2
- 一般質問 (5名) ..... 6
- 臨時会 (5月7日) ..... 9
- 常任委員会ノート ..... 10
- 町議会日誌 ..... 12

# 平成20年度予算成立

## 総額145億9120万円

平成20年  
第1回

# 定例会

3月6日～14日

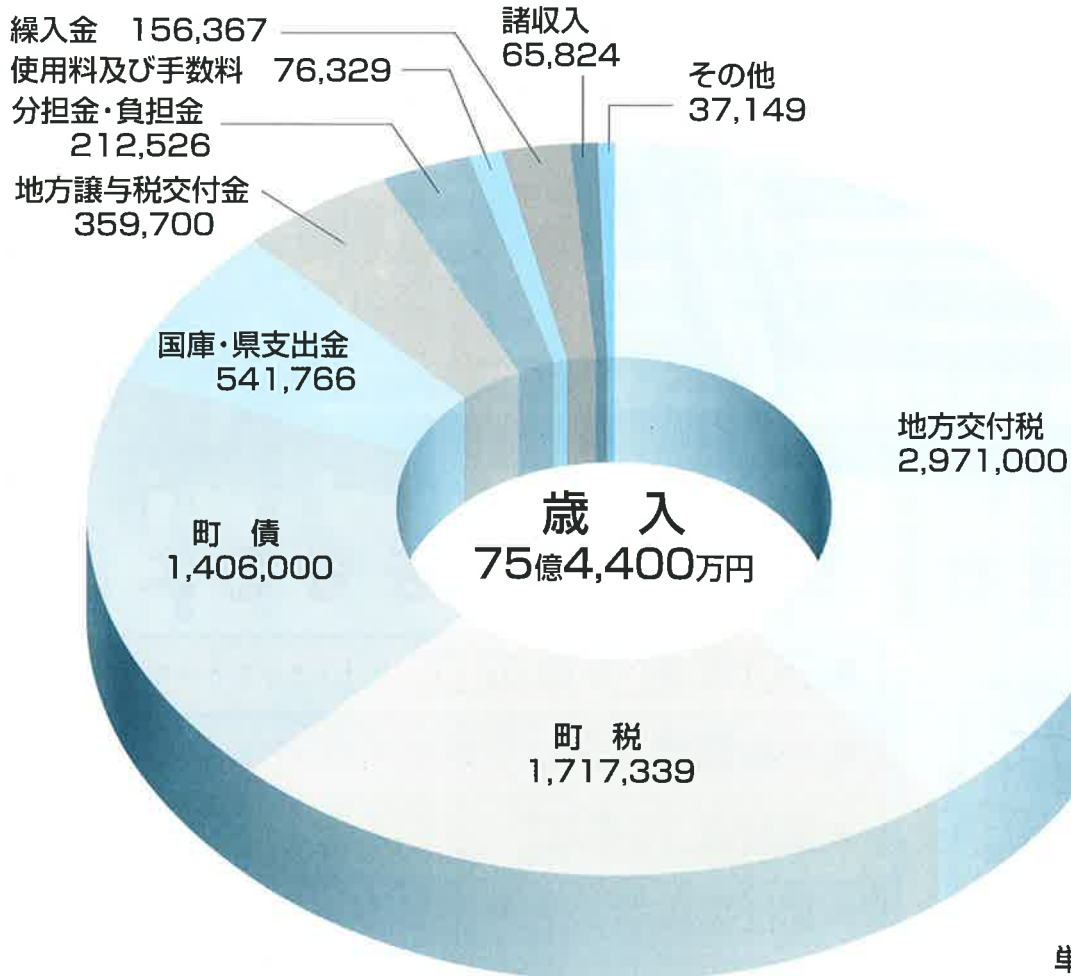
◎平成二十年度一般会計予算

### 主な編成方針

- 行財政改革の推進
- 聖域なき事業見直し
- 重点事業の優先順位明確化
- 公債費の縮減

### 歳入の概要

町税は税源移譲により3%増、地方交付税は前年比1%増を見込んでいます。  
 繰入金は6.2%減となった。町債は借換債を含め前年比17.9%増となっております。  
 新たに町道占用料や職員駐車場使用料の徴収が計上されました。

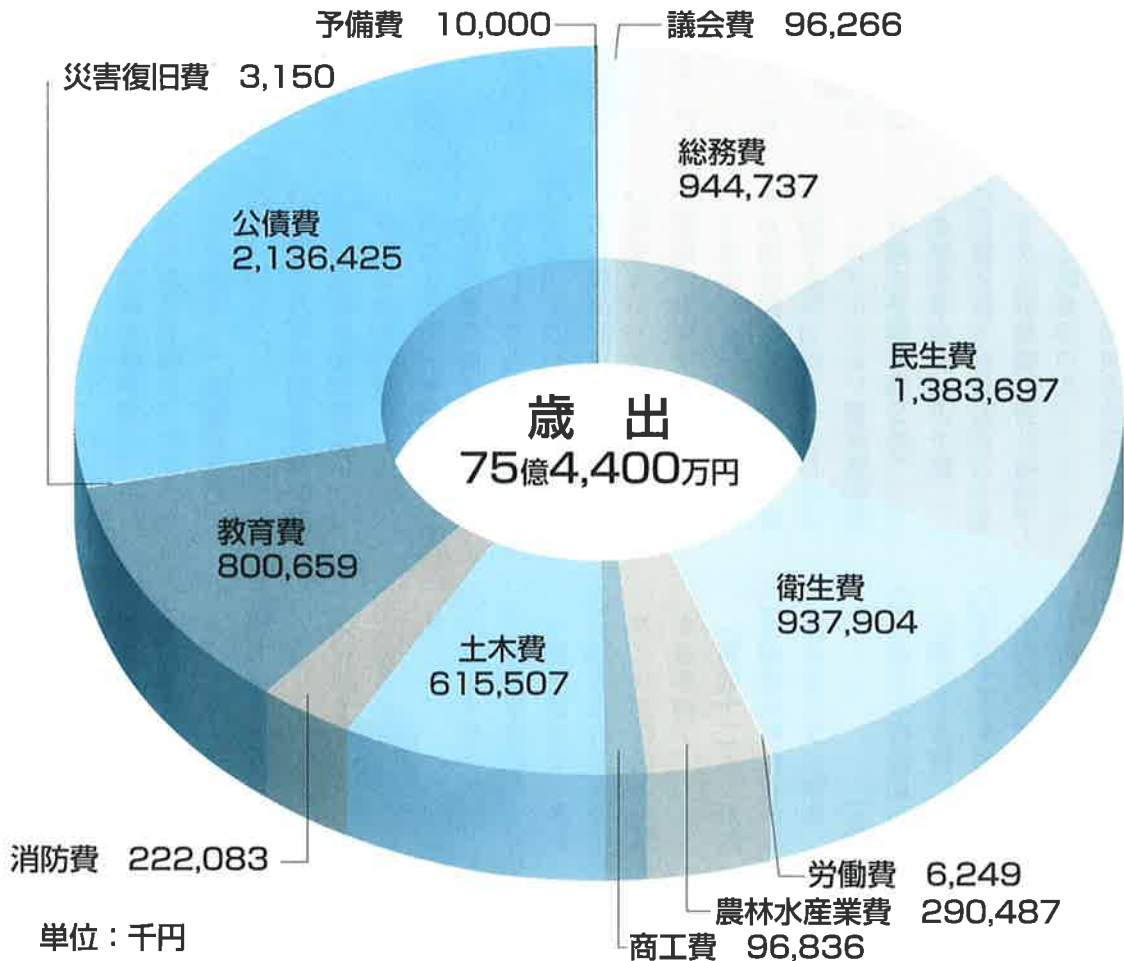


単位：千円

主な事業・施策

- 情報化推進事業  
一億九百三十五万九千円
- 企業誘致対策事業  
五千三百三十六万円
- 新交通政策推進事業費  
三千八百二十三万九千円
- 商工業貸付金・利子補給  
一千六百七十九万二千円
- 若者定住バックアップ事業  
一千四百四十万円
- 児童手当給付事業  
一億一千二百万円
- 放課後児童クラブ運営事業  
一千七十五万八千円
- 子育て支援センター事業  
一千六十九万円
- 社会福祉協議会運営事業  
三千九百七十八万六千円
- 老人保護措置費  
一千二百二十六万一千円
- 心身障害者医療給付事業  
四千三百四十二万九千円
- 障害者自立支援給付事業  
一億七千三百八十八万三千円
- 自立支援医療費  
一千二百九十五万二千円
- 地域生活支援事業  
一千六百七十六万四千円
- 乳幼児及び児童医療給付費  
二千二百七十九万四千円
- 予防接種事業  
一千五百七十八万八千円
- 健康増進事業  
一千三百三十八万一千円
- 県営事業負担金(農林)  
一億五千八百八十七万九千円
- 道路維持管理事業  
一千八百二十三万三千円
- 道路整備事業  
二千七百九十四万七千円
- 県営事業負担金(土木)  
一千二百二十七万二千円
- 小学校施設整備事業  
一億八千万円
- 岡部家保存整備事業  
五千六百九万九千円

(賛成十二人 反対一人)





◎平成二十年度特別会計予算・事業会計予算

◎国民健康保険特別会計予算

歳入歳出それぞれ十五億五千四百七十五万一千円とするもの  
(賛成十二人 反対一人)

◎ケーブルテレビ事業特別会計予算

歳入歳出それぞれ六千三百十七万円とするもの  
(賛成十二人 反対一人)

◎老人保健特別会計予算

歳入歳出それぞれ二億四千七百七十五万七千円とするもの  
(全員賛成)

◎水道事業会計予算

収益的収入 三億三千四百五十三万七千円 収益的支出 三億七千三百九万八千円。資本的収入 八千三百五十三万九千円 資本的支出 二億一千四百二十八万二千円とするもの  
給水戸数 四、七七〇戸  
年間総給水量 一、四六三、〇〇〇m<sup>3</sup>  
日平均給水量 四、〇〇八m<sup>3</sup>

◎後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出それぞれ一億七千三百六十二万一千円とするもの  
(賛成十二人 反対一人)

◎介護保険特別会計予算

歳入歳出それぞれ十三億三千二百八十二万六千円とするもの  
(賛成十二人 反対一人)

◎国民健康保険志雄病院事業会計予算

資本的収入 九億四千七百五十六万五千円 資本的支出 十一億一千九百六十万二千円とするもの  
業務の予定量  
農業集落排水事業  
排水戸数 八九〇戸  
年間総処理水量 三〇三、〇〇〇m<sup>3</sup>  
日平均処理水量 八三〇m<sup>3</sup>  
公共下水道事業  
排水戸数 二、四四〇戸  
年間総処理水量 八〇三、〇〇〇m<sup>3</sup>  
日平均処理水量 二、二〇〇m<sup>3</sup>  
浄化槽事業  
排水戸数 七二戸  
年間総処理水量 一八、二五〇m<sup>3</sup>  
日平均処理水量 五〇〇m<sup>3</sup>

◎国民健康保険直営診療所特別会計予算

歳入歳出それぞれ六千七百九十二万七千円とするもの  
(全員賛成)

◎下水道事業会計予算

収益的収入 五億一千五百七十二万六千円 収益的支出 六億五千七十四千円

◎国民健康保険志雄病院事業会計予算

収益的収入および支出 それぞれ十一億二千九百三万一千円 資本的収入 五千八百八十六万四千円 資本的

◎条例関係

○地方公務員の育児休業に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う宝達志水町の関係条例の整備に関する条例 (全員賛成)

○宝達志水町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町合併振興基金条例 (全員賛成)

○宝達志水町デマンドタクシー運行事業に関する条例の一部を改正する条例 (賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町若者等定住バックアップ条例の一部を改正する条例 (賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町保育所条例の一部を改正する条例 (賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町後期高齢者医療に関する条例 (全員賛成)

○宝達志水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町乳幼児及び児童の医療費給付に関する条例の一部を改正する条例 (賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町心身障害者医療

支出 一億二千五百五十六万一千円とするもの  
主要事業  
医療機械器具等整備事業 四千七百四十七万円  
付帯設備整備事業 三百三十八万一千円  
(全員賛成)

◎平成十九年度補正予算関係

○一般会計補正予算(第6号)  
歳入歳出それぞれ二億五千六百七十七万一千円を増額し七十三億八千三百三十五万五千円とするもの  
○ほか、次の平成十九年度各会計補正予算六件

○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
介護保険特別会計補正予算(第3号)  
ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)  
水道事業会計補正予算(第2号)

○下水道事業特別会計補正予算(第4号)  
国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第1号)

○宝達志水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○宝達志水町心身障害者医療

○宝達志水町心身障害者医療

費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○宝達志水町国民健康保険条例の一部を改正する条例

(賛成十二人 反対一人)

○宝達志水町介護保険条例の一部を改正する条例

○宝達志水町健康診査費用徴収条例を廃止する条例

○宝達志水町道路占用料条例

(全員賛成)

◎規約

○宝達志水町の特定の事務の郵便局における取扱いに関する規約の廃止

(全員賛成)

◎その他

○宝達志水町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定

○町道路線の認定

麦生14号線、上田8号線、上田9号線、今浜新道14号線、今浜新道15号線、出浜

8号線、柳瀬15号線、柳瀬16号線、荻島5号線、荻島

6号線、菅原8号線

○町道路線の変更

柳瀬4号線

(全員賛成)

◎承認(専決処分)の報告(二件)

○平成十九年度宝達志水町下水道事業会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

◎人事案件

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

宝達志水町菅原

山本 忠 嗣(60)

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

宝達志水町荻谷

山本 外茂夫(67)

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

宝達志水町子浦

志尾 明 男(50)

◎請願

○原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書についての請願

(継続審査)

○「非核日本宣言のよびかけ」に賛同し、政府に対し意見書の提出を求める請願

(継続審査)

◎病院運営特別委員会の設置

志雄病院運営に係る、医療の提供に関する問題、病院現場固有の問題、病院経営の財政的な問題など多面にわたる問題を審議するため、六名の委員で構成する病院運営特別委員会を設置する。

委員長 守田 幸 則

副委員長 中谷 浩 之

委員 小島 昌 治

委員 北本 俊 一

委員 津田 勤

委員 柴田 捷

議会関係用語辞典

請願(せいがん)とは、国民をはじめ、広く人々が、国又は地方公共団体等に対し、それらが所管する事項に関し、一定の措置をとるよう、あるいはとらないよう希望し、申し出ることをいいます。

請願は、単に希望を述べる行為にとどまり、例えば地方議会や国会に対する請願のように議会や議院で請願が採択されて、執行機関や内閣に送付されたとしても、願意に沿った措置がとられるかどうかは、そのことについて措置する権限を有する執行機関や内閣等の機関が最終的にどう判断するかにかかっています。

請願は、その対象となる事柄の範囲は極めて広く、またその手続きも簡単です。

地方自治法第百二十四条に「議会に請願書を提出する場合には、議員の紹介がなければならぬ」と規定されています。紹介議員は、一人でもよく、請願書の表紙に署名ま

たは記名し、押印しなければなりません。

政策調査費(せいむちようさひ)とは、地方議会の議員が政策調査研究等の活動のために支給される費用です。

概要 政務調査費の交付については、地方分権一括法の施行等により、地方議会の活動が重視されたため、地方自治法が平成十二年に改正され、新たに導入されました制度です。地方自治法の改正に伴い、平成十三年以降、各自治体の判断で導入されました(制度が導入されていない自治体もあります)。具体的には地方自治法第百条第十三項と第十四項に規定されています。

支給内容 政務調査費の詳細は、各自治体の条例により定められています。議会の会派または議員に対して支給されます。交付額や交付方法については、自治体により異なります。



# 町政を問う

# 質問 いっばん

## 施設の統廃合の今後について問う

津田 勤 議員



態や配置、利用状況の実態を検証し、存続、廃止、転用、統合、管理方法の変更などの区分で慎重審議されたところである。

**問** 各公共施設の統廃合が進められているが、廃止の対象となつた施設について、再利用などの有効利用の方向性を示せ

**答** 町長

平成十八年三月に策定した宝達志水町行財政改革大綱を基本理念とし、町民の視点に立つた簡素で効率的な行財政運営の実践を掲げ、鋭意取り組んでいる。

昨年、宝達志水町公共施設統廃合検討委員会が四回にわたり開催され、百の施設の状

## 行財政改革大綱について問う

柴田 捷 議員



**問** ①行財政改革大綱の進捗状況と今後の見直しについて、推進体制と取り組みと審議会委員の選任方法の考え方、改革推進項目毎の実施内容、実績と効果、進捗状況などの報告方法、審議会の結果報告、改革推進項目の進捗状況等の公表方法と意見が反映できる仕組みを問う。

**答** 町長

③公共施設の統廃合の実施について、四月から実施される東部保育所の園児の送迎方法、統廃合後の空き施設の有効利用、白虎山センターの廃止に伴う介護予防教室について問う。

このような施設は、安全性や維持管理費の節減という見地から、できるだけ再利用など考えず、継続使用となる施設を有効に活用する方針である。

施設の統廃合に際しては、「最小の経費で最大の効果を上げる」という地方自治運営の基本に立つて、取り組んでいく。

②ケーブルテレビ事業の収支改善について、事業の採算ペースの加入率と達成年度度、加入促進に向けた助成措置の再実施、委託費の削

①行財政改革大綱は、具体的な調査や検討を始めるとともに、実施可能なものから着手している。平成十九年度は、公共施設統廃合検討委員会を設置し、一定の方針を定めた。また、人件費、物件費、補助金・助成金を大幅に削減した。進捗状況は、毎年度末に審議会に報告し検証する。見直しについては、新年度において検



討する。

②採算ベースは加入率が八十パーセントでかつ、デジタルスーパーコース加入率が七十パーセントと考えている。現在の加入率は三十五・四パーセントであり、さらなる加入促進に向け施策を実施し、助成措置の再実施については他の市町の実況などを調査し検討する。

③東部保育所の統合においては、地域の区長、保護者に経緯、基本方針等を説明し理解を得た。送迎は保護者の皆さんにご協力をお願いしている。施設の再利用は地元の方々の意見を十分聴きながら進める。白虎山センターの廃止に伴う介護予防教室は場所を町民センター「アステラス」に変更したい。

**答** 副町長

①審議会委員の選任方法は、町議会をはじめ各種団体の代表者など十名を委嘱。任期二年と定め、昨年の三月三十一日で任期満了であつ

たが、改革の進捗状況を検証する必要があることから、同委員全員を再任した。改革項目ごとの実施内容や実績と効果、進捗状況は、昨年の審議会に報告し、町議会三月定例会にも付属資料として配布した、実施計画と実施状況については、早速ホームページや広報などで公表したい。

**答** 情報推進室長

②ケーブルテレビ委託費削減は事業開始時に締結した基本協定に定めがあり、難しいが協議していく。自主番組の制作は職員に切り替え番組の充実・強化を図る。また、地域の情報収集ならびに情報提供を担っていただく通信員を全集落に配置し、町民の皆様からの投稿ビデオの放映、町からの情報など、地域の行事やイベントや文化財や景勝地など地域に密着した番組づくりを考えている。

子育て支援事業について問

萩山 恭子 議員



**問**

- ①当町独自の子育て・保育事業の施策を考えているか。
- ②当町独自で子育て基金を設定し、商店のポイントサービスの交換条件のひとつとしての寄附を明示した商品の販売をしたり、子育て支援の輪を広げるための活用等の考えはないか。
- ③出産後女性が働きやすい環境づくりとして保育サービスの強化、日曜・祭日保育の検討。
- ④商工業への職場における子育て支援の協力と理解、啓発活動について

⑤保育所と医療施設が連携し「病児・病後児保育」の万全の対応が取れないか問う

**答** 町長

②ポイントサービスについては県より具体的な説明を受けておらず、今後示される事業内容を見極め対処する。また、この事業に限らず、町民の負担にもならず、かつ、財政負担も伴わない、より効果的な子育て支援がないか今後検討していく。

③女性の就業形態の多様化、核家族化の進行等により、保育ニーズも多様化してきた。当町では土曜日も含めた延長保育・一時保育等を実施しているが、指定管理者による運営を検討する中で、日曜・祭日保育をはじめ保育内容の更なる充実を図る。

**答** 住民課長

⑤病児・病後児保育は常時医師、看護師が必要であり、志雄病院の小児科の実情からは人員確保が難しく、育児スペースがない。また、保育所についてもスペースの余裕と看護師の増員が困難なことから、現状では大変難しいと考えている。

①県が新たに展開する事業は従前の「マイ保育園事業」を拡大して実施する事業で、研修を受けた保育士がソフト・ハード面から、母親への支援をするもの。具体的な取り組みとして、今後は町内全保育所に研修を受講した保育士を配置し、子育て・少子化対策に活かしていく。

④事業主に対して育児休業制度の普及、事業主体が子育て支援財団のプレミアム・パスポート事業への参加依頼など、あらゆる方面から子育て支援の理解、啓発に努めている。今後とも、町商工会と連携を密にして啓発活動に努めたい。

# 米づくりの支援 宝達くず生産振興について

川崎 與一 議員



## 問

米づくりの支援について

① 農業法人の推進状況について。

② 米需給調整に対する町単独助成について町の感を聞く。

③ 宝達くず生産振興について問う

## 答 町長

農業・農村を取り巻く環境は、米価の下落、農業者の高齢化など大きく変化している。この現状にかんがみ、担い手の確保に主眼を

置き農業経営の規模拡大および農地の保全などに積極的に取り組んでいる。今後とも各種施策を取り入れながら推進する。また、米需給調整に伴う町単独の助成については、従前の制度に変わる有利な制度を取捨選択の上、有効に活用していく。

## 答 農林水産課長

① 南吉田地区において稲作経営を主体とする農事組合法人が当町として初めて設立された。その後、新たに二地区に設立され、さらに二か所で法人化に取り組んでいる。今後とも法人化とともに集落営農組織の育成・強化に取り組む。

② 生産調整の上乗せ助成金は、国の制度等を十分に勘

案した結果、予算計上を見送った。これに変わり、産地づくり交付金および地域水田農業活性化緊急対策などの国の交付金を有効に活用する。地域づくり交付金は地域の創意工夫により活用できる国の支援金であり、生産調整の達成度により、増額が見込まれる。生産調整事務に要する経費は、前年に引き続き計上している。

③ 宝達くずは、生産者の高齢化や地元での良質なくず根不足から、一部を除き、中国産の原木を輸入し、地元で精製のうえ、販売している。中国の一部農産物等の国外輸出禁止措置に伴い、従来の原木の入手が困難と聞いている。生産を続けるため、新たな原料の調達先を模索しており、伝統ある特産品「宝達くず」の安定生産に対する支援を講じる。

# 新年度予算案について問う

小島 昌治 議員



## 問

平成二十年予算案について

① 地方交付税の合併後の減額の総額は、また、削減された国庫補助額は。

② 「構造改革」により、町民からどのような声があるか。

③ ケーブルテレビ施設事業者の選定は適切だったか。

④ 企業誘致条例による進出企業への助成額の総計は。

⑤ 新制度の導入や料金の改正など、負担増の総額は。

⑥ 税や利用料、保険料などの減額免除制度の充実図れ。

## 答 町長

⑥ 国保税条例の一部改正で

は、減免に関する規定を新たに追加し、後期高齢者医療制度においては軽減措置が盛り込まれている。

## 答 企画財政課長

① 平成十六年度から地方交付税総額で六億八千八百万、国庫補助で一億二千九百万の減額となる。

④ いしかわグリーンパワー株式会社への助成の総額は、九千万円を予定している。

⑤ デマントタクシーの利用者一人当たり平均約三千八百円の増額となる。

## 答 情報推進室長

③ 町でインフラ整備をし、運営も公設民営方式を採用していることで、サポート面や番組提供面から、県内に実績のある現在の契約者が適切だと判断した。



**答** 住民課長

②介護保険料と後期高齢者保険料が、年金支給額から引かれるのは生活をしていく上で大変だという声がある。

**答** 環境安全課長

⑤ゴミ袋の無料配布枚数は前年度枚数の半数とし、一人当たり二百八十八円の増額。

**問**

平成二十年度国民健康保険税について

①現行保険税の一人当たり調停額、改定後の調停額、一世帯当たりの平均額は。

②後期高齢者支援金等課税額の国保加入者一人当たり調停額と、一世帯当たりの負担額はどれだけが。

③国保会計予算からの後期高齢者支援金について一人当たりの負担金、支援金、病床転換分、事務費、国保加入者数はどれだけが。

④国民に耐えられる負担だと思つか。

**答** 町長

④国保加入者の医療費が高く

なればなるほど加入者の負担する税も高くなる訳で、決算では高額医療を含む医療費の急激な増額によるものと、後期高齢者支援金分の新たな上乗せで、やむを得ない状況である。

**答** 健康福祉課長

①一人当たりの調停額は約七万二千二百十三円、改定後は約七万七千八百七十九円、一世帯当たりの平均額は現行が約十三万六千八十二円、改定後は約十三万四千八百三十八円の見込み。

②後期高齢者支援金等課税額の国保加入者一人当たりの平均額で約一万九千六百五十一円、一世帯当たりの平均額は三万四千九百六十四円の負担になる。

③後期高齢者支援金の国保加入者数は、三千五百九十四人。

このほか次の三項目の質問もありました。

○療養病床削減について

○後期高齢者医療制度について

○行政の政治活動について

平成20年  
第1回

臨時会

5月7日

◎人事案件

○教育委員会委員の任命について

宝達志水町北川尻

寺谷良一 (77)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

宝達志水町今浜

角又喜 (58)

角又喜 (58)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

宝達志水町出浜

釜谷十六夫 (64)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

宝達志水町杉野屋

中橋樹 (62)

○固定資産評価委員の選任について

宝達志水町向瀬

山田久延 (55)

○請願

○原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書についての請願

(不採択)

○「非核日本宣言のよびかけ」に賛同し、政府に対し意見書の提出を求める請願

(不採択)

(不採択)

(不採択)

(不採択)

(不採択)

(不採択)

(不採択)

(不採択)

(不採択)



# 常任委員会ノート

三月定例会会期中に行われた審査の内容を紹介します

町の議会には、総務、教育厚生、産業建設の三つの委員会があります。常任委員会では、各々の常任委員会に属する事務の調査や、付託された議案、請願などの調査を行います。

## 総務

3月11日

問 合併後は、協議して、一社の随意契約である。

問 志雄商工会と押水商工会は合併に向けて、話は進んでいるか。

問 今年度中に（合併すること）は、間違いないと思う。

問 YOSAKOIの予算はあるか。

問 二百二十五万円、三十万円以上の各種団体の補助金を十パーセントの削減とした。

問 (YOSAKOIを) 町祭にできないか。

問 町祭には、クリアすべきものがあり、準備が必要。時

問 間がかかるのではないか。

問 NTNの今後は、(今年) 六月に起工、操業は二十一年となっている。

問 職員駐車場有料化の対象者は、

問 今のところ町職員のみ。

問 統廃合で押水庁舎をどうするかの。

問 今後どうするかは、今後の検討課題である。

問 団体助成金の支出規定が必要なのではないか。

問 ゴミの減量化の働きかけが必要ではないか。

問 分別の徹底、ボランティア団体を活用し、マイバツクの推進を図る。

次の請願は、調査が必要との意見があり、継続審査となりました。

・「非核日本宣言のよびかけ」に賛同し、政府に対し意見書の提出を求める請願

問 会計課に金融機関への委託料があるが、なぜか。

問 職員が現金を触らないよう、現金については、指定金融機関が業務を行っている。委託料は、県下統一されている。

問 合併時からの電算統合ソフトウェアの借り上げは、毎年随意契約をしているのか。

# 教育厚生

## 3月10日

**問**宝達山マラソンの中止に代わるものが盛り込まれたか。

**答**七種類くらいの案が出ている。

**問**児童虐待の本町の対応は。

**答**児童相談所、保健所、関係機関へ連絡し、ケース検討会を実施している。

**問**寝具類洗濯乾燥サービスの回数が四回から二回になった理由は。

**答**県内や利用者の状況をみて、二回とした。

**問**学校の警備委託は、どうなっているか。

**答**何か起これば、警報が鳴り、警備員が駆けつける。

**問**地域生涯学習事業費とは。

**答**地域の活力をつけるのが目的。それぞれの地区の実態を持ち寄った形で、地域を作りあげていただきたい。

**問**高齢者のインフルエンザ予防の課題解決にむけて進めていきたい。

**答**ネクサスを、土地改良区、または、商工会が合併した時に、事務所として利用を考えては。

**問**いつ合併をして新団体が発足するか見えないが、検討する必要がある。

**答**漁業協同組合は、財政の苦しい中、ハマグリ、アサリを毎年放流する事業を行っている。仕入の金額が上がったとき、補正で対応できないか。

**問**防接種の自己負担が、四百円から千円になった経緯は。

**答**羽中市が千円の負担となっていることや、三千人が接種を受けていることもあり、千円の負担をお願いしたい。

**問**町内小中学校の給食に中国産の使用はないか。

**答**中国産の食材は十一品目あったが、検査済みのものだけをを使用している。

**問**（オーストラリアの）ヌーサ市との交流が一年延期されたが、フィンランドとの

**答**各部門に分けて、細かく出していた、きたい。精査して検討したい。

ないか。

交流も含めて努力してほしい。

**問**ヌーサ市は、今年三月に三つの市で合併。その状況を見てからという返事である。フィンランドの国際交流は、静観の状態で、先方の了解のもとで一年休止となった。

**次の請願は、調査が必要との意見があり、継続審査となりました。**

・原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書についての請願

# 産業建設

## 3月7日

**問**志雄土地改良区と押水土地改良区の合併についての今後の見通しは。

**答**今年度（平成十九年度）に入って、九回余りの合併検討委員会が開かれた。今後の方針として合併は必要との意見は出た。ただ、現在

ないか。

**問**山間部の二、三戸ほどのため池の修繕は、補助対象にならないか。

**答**受益者が数名の場合は、町単程度になり、町にしても限られてくることから難しい。農地水環境対策という事業を活用するのが現状である。

**問**（町が）管理する公園施設は何か所あるか。公園の管理は。

**答**八か所ある。トイレ清掃、桜の間伐、樹木のせん定は、シルバー人材センターで行う。

**問**水道事業の赤字の要因は。

**答**主な原因は、水道水を思ったほど使ってもらえないこと。歳出の方は、なかなか削減できない。

**問**宝達山にはいろんな施設があるが、どのような扱いか。

**答**企画財政課が所管している。



# 町議会日誌 1月～4月

## 〔1月〕

- 4日 新年互礼会
- 5日 体育協会新年互礼会
- 6日 消防団出初式
- 12日 町体育協会功労者・優秀選手表彰式
- 13日 成人式
- 15日 定期監査
- 17日 定期監査
- 18日 定期監査
- 21日 志雄商工会新年会
- 21日 能登総合開発・七尾線強化合同理事会
- 22日 議会改革検討特別委員会
- 24日 町地域交通会議
- 25日 例月出納検査
- 29日 定期監査
- 29日 県議長会臨時総会
- 30日 立志式
- 30日 議会運営委員会
- 30日 全員協議会

## 〔2月〕

- 1日 押水商工会懇談会
- 5日 耐震改修促進計画策定委員会
- 6日 議会運営委員会
- 8日 石川県市町村消防賞
- 10日 所司原くさぎ祭り
- 13日 監査委員協議会理事
- 17日 道路特定財源の暫定税率維持を求める石川県総決起大会
- 18日 かほく市営バス連絡協議会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 国保運営協議会
- 20日 議会改革検討特別委員会
- 21日 兵庫県豊岡市議会視察
- 25日 来町
- 25日 例月出納検査
- 26日 全員協議会
- 28日 自衛隊入隊入校予定者激励会

## 〔3月〕

- 4日 商工会合併準備協議会
- 6日 設立総会
- 6日 議会運営委員会
- 7日 定例会開会
- 7日 産業建設常任委員会
- 10日 教育厚生常任委員会
- 11日 総務常任委員会
- 14日 中学校卒業式
- 18日 議会運営委員会
- 18日 定例会再開
- 19日 耐震改修促進計画策定委員会
- 19日 中学校建設特別委員会
- 23日 水源の森づくり協会理事会・総会
- 24日 県議長会議長協議会
- 25日 樋川浄化センター通水式
- 29日 朝ごはん運動推進本部

## 〔4月〕

- 5日 J Aはくい合併10周年記念式典
- 9日 民生児童委員協議会総会
- 13日 下呂市訪問
- 17日 議会運営委員会
- 19日 交通安全協会表彰式・通常総会
- 21日 議会改革検討特別委員会
- 22日 郡町議会議長会総会
- 23日 宝達山開山祭
- 23日 教育厚生常任委員会
- 26日 町土地開発公社理事
- 27日 例月出納検査
- 27日 後期高齢者医療広域連合議会
- 28日 日本会議議員連盟
- 29日 吉崎川広域基幹河川改修事業完成祝賀会
- 31日 N T N 記念植樹式

- 24日 病院運営特別委員会
- 25日 例月出納検査
- 25日 町体育協会総会
- 25日 押水商工会総代会
- 30日 能登地区町議会連絡会
- 30日 設立総会
- 30日 県町村議会議長会定期総会

### 議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。傍聴手続きは、当日、議場の入り口で簡単に出來ます。

問い合わせ先 議会事務局 ☎28-8310

### 広報編集特別委員会

- 委員長 中谷 浩之
- 副委員長 岡野 茂
- 委員 金田 之治
- 委員 林 一郎
- 委員 川崎 與一